

平成 29 年度
学校関係者評価報告書

平成 30 年 2 月

学校法人東北文化学園大学

東北文化学園専門学校

平成 29 年度学校関係者評価について

東北文化学園専門学校は平成 25 年度に文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考に自己評価に取り組み、以降、毎年、自己点検・自己評価を行い、企業等との連携を深め、職業教育の充実を図って参りました。

平成 27 年 2 月に、1 科を除き文部科学省職業実践専門課程の認定を受け、翌 28 年には設置科全てが認定されています。平成 28 年度の自己点検・自己評価を実施するにあたり、「専修学校における学校評価ガイドライン」及び特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が、ガイドラインに準拠して制定した「専門学校等評価基準書 Ver4.0」を導入すべく準備を開始いたしました。

「平成 28 年度自己点検・自己評価報告書」に基づき、「平成 29 年度学校関係者評価報告書」を取りまとめましたので、その結果を公表いたします。

今後も、指摘事項の改善に向けて、その進捗状況を各委員に報告するとともに、専門学校の教育・運営に活かして参ります。

1. 対象期間

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

2. 実施方法

- (1) 学内に「自己点検および自己評価運営委員会」を設置し、当該年度の自己点検・自己評価報告書を作成しております。
- (2) 報告書を基に「学校関係者評価委員会」を開催し、意見を取りまとめています。
- (3) 各委員の意見については公開を予定しています。

3. 自己点検・自己評価の項目

平成 28 年度は以下の 11 項目について実施しています。

- (1) 教育理念・教育目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財 務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

4. 評価項目に対する評価

評価は、1～4の点数で記載しております。

4：適切　3：やや適切　2：やや不適切　1：不適切

5. 学校関係者評価委員

【外部委員】平成29年度

栗原 憲昭　盛総合設計　代表取締役
海老主 勝義　愛子整形外科　事務長
中里 仁　社会福祉法人東北福祉会　せんだんの館　総合施設長
山形 和正　わかばやし眼科　院長
立石 浩一　東北文化学園専門学校同窓会　会長

【自己点検及び自己評価運営委員会】

委員長　千田 孝彦　校長
副委員長　熊谷 猛　教頭
委員　二本柳 淳子　医療技術学科長(教員)
渡辺 英隆　教務委員会主事(教員)
宇川 雅晴　学生委員会主事(教員)
増田 学身　企画広報委員会主事(教員)
津田 真彦　キャリア対策委員会主事(教員)、
千田 利朗　事務局次長

6. 学校関係者評価委員会開催

開催日：平成30年2月8日

場 所：東北文化学園専門学校 2号館 第1会議室

平成 29 年度学校関係者評価—平成 28 年度自己点検・自己評価—

(1) 教育理念・教育目標		
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する企業等のニーズに向けて方向づけられているか	4

学校関係者評価

- アクションプランの定点チェックによりミッション達成に期待します。
- アクションプランの達成、実現に向けた取り組みも確実に進んでいることを確認いたしました。
- 保護者・外部に向けた更なる情報提供・発信、学内(教職員)間での理念・目的の共有が感じ取れました。
- 卒業生への情報発信を有効に活用してはどうでしょうか？卒業生同士の連携のきっかけを作り、母校への関心が高まることを期待します。

(2)学校運営		
5	目的に沿った運営方針が策定されているか	4
6	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
7	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
8	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
9	教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
10	企業や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
11	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
12	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

学校関係者評価

- コンプライアンス体制や教育活動の情報公開等、妥当と思われます。
- 学生の募集に当たり、更にホームページや学校便りを利用し、情報公開を推進するよう期待しております。
- ホームページ上への公開情報が少ないように思います。高校生への募集活動に関する情報以外に、学校としての取り組みや、教職員の成果など、保護者や高校教員が知りたい情報もあると思います。

(3)教育活動		
13	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
14	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
15	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
16	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
17	関連分野の企業・関係施設等、業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
19	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
20	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
21	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
22	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
23	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
24	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
25	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
26	教職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

学校関係者評価

- インターンシップ等、学生や保護者のニーズに沿った更なる取り組みと、その充実を期待しております。
- 教育課程編成委員の意見が各科カリキュラムに反映されており、委員としての責任を痛感しております。業界の動向をしっかりと見極め、確かな情報を提供していきたいと思っております。
- 施設や企業、関連団体と連携した特徴ある教育をさらに推し進めて欲しいと思っております。

(4)学修成果		
27	就職率の向上が図られているか	4
28	資格取得率の向上が図られているか	4

29	退学率の低減が図られているか	4
30	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
31	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

学校関係者評価

- 専門学校において、関連の資格を取得することは大切なことですが、実践的な職業訓練の視点から、資格取得が第一義にならないことを望みます。
- 担任制—就職センター—キャリア対策委員会が連携し、それぞれの専門分野へほぼ 100%内定していることは素晴らしい成果だと考えます。
- 今後も就職率の向上と退学率の低減維持が継続されるよう期待します。さらに社会の求める人材の育成・確保のためにさらなる業界との連携を期待します。
- 専門学校へ進学した以上、何等かの資格取得は必要であると思います。難関資格への挑戦も大切ですが、小さな資格や検定を積み重ねることで培われる自信も必要な時代だと思えます。

(5)学生支援		
32	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
33	学生相談に関する体制は整備されているか	4
34	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
35	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
36	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
37	学生の生活環境への支援は行われているか	4
38	保護者と適切に連携しているか	4
39	卒業生への支援体制はあるか	3
40	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
41	高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

学校関係者評価

- 全体的に学生の支援体制については十分な支援体制がとられていると思います。課外活動については、もう少し活発になるよう学生に対する促しが必要だと思えます。
- 厳しい環境にある学生に対する現状の経済的支援を高く評価しております。
- 学生との相談対応、保護者との連携ともに先生方の日々の活動が学校の信頼性に繋がると考えます。今後も継続して頂ければと思います。
- 学納金の延納等の相談について、科の教員が直接かかわらず、保護者と財務担当者が相談できる体制があることは、経済的に厳しい世帯にとってはとてもいい支援だと思います。このような細やかな配慮の継続を望みます。
- 同窓会から、学園祭や卒業制作展などの学生の活動に助成金が出されていることを

初めて知りました。同窓会による学生支援、心強いです。

(6)教育環境		
42	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
43	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3
44	防災に対する体制は整備されているか	4

学校関係者評価

- 施設の老朽化はどうしても感じます。教育機器、施設改修計画は計画的に行っているものと思いますが大学優先になっていないか危惧します。
- 教育活動評価と関連し、実習・インターンシップの受け入れを、当法人としても積極的に受け入れたく思っております。
- 常勤教員が多く、担任制をとって学生の教育環境に目を配れるのは良いと思います。一方、科が多く、設備投資が順番待ちになっているのでは？と懸念されます。

(7)学生の受け入れ募集		
45	学生募集活動は、適正に行われているか	4
46	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
47	学納金は妥当なものとなっているか	4

学校関係者評価

- 少子化の中、学生募集にはご苦労されていることと思います。更なる工夫を期待しております。
- 高校生やその保護者への情報提供について工夫を重ねていることが感じ取れます。更なる工夫に期待しております。
- 大学は「保護者懇談会」というのがありますが、専門学校では必要ないのでしょうか？参加できるかどうかはさておき、専門学校の保護者も、「保護者懇談会」などの開催を求めているのでは？

(8)財務		
48	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
49	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
50	財務について会計監査が適正に行われているか	4
51	財務情報公開の体制整備はできているか	4

学校関係者評価

- 学生の受け入れ募集同様、少子化が学園の財政に及ぼす影響は極めて大きいと思います。

- 経営幹部だけではなく、教職員全員が経営意識を持つことが、生き残りのカギではないかと痛感しております。僭越ながら更なる周知徹底が必要かと考えます。
- どのような戦略で、どう経営していこうと考えているのか、経営陣の方策が知りたいです。戦略を共有しなければ何も始まらないのではないのでしょうか。

(9)法令等の遵守		
52	法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4
53	情報公開に関し、その保護のための対策がとられているか	4
54	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
55	自己評価結果を公開しているか	4

学校関係者評価

- 適切に対応されていると思います。
- 外部者の目をしっかり入れながら法令遵守に努めて欲しいと思います。
- 法令等の遵守については、姉妹大学が併設されていることで安心感があります。文部科学省の基準に則って行われている学校であると感じています。

(10)社会貢献・地域貢献		
56	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
57	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
58	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受諾等を積極的に実施しているか	3

学校関係者評価

- 地域と学校を繋ぐ、地域連携センター等を設置し、積極的に地域と交流を促進している学校もあり、さらなる地域貢献の成果を期待します。
- 1年に1回でも全学的に行う「感謝の日」を支持します。
- 周辺大学では、地域貢献に力を注いでいる大学も見受けられます。その中において御校の学生ボランティアの評価は高く、メディアを使い更なるPRをされてはと思います。
- 大学と専門学校が協力して行っているボランティア活動や、専門学校の科で行っている社会貢献活動などを知っていますが、大学の露出ばかりが目立っているように思います。専門学校からの発信強化を望みます。

(11)国際交流		
59	留学生の受け入れについて戦略をもって国際交流を行っているか	3

学校関係者評価

- 国際関係(福祉分野等)についてのカリキュラムの充実を本格的に検討する時期にあると思います。
- 学校全体が留学生受け入れに進むのではなく、留学生を必要とする(具体的には介護や土木)分野において少人数からのスタートでもいいのではないのでしょうか。
- 入学者の減少を留学生で賄う考えではないことに安心しました。
- 国際交流は留学生の受け入れだけではありません。また、海外研修等も必要なのかもしれませんが、外国文化を知る・理解する教育(単なる英語教育ではない)をカリキュラムに加えることも大切だと思います。
- 留学生を受け入れるのであれば、その対応を専門にあつかうプロ集団を雇い、専用窓口を作らなければならないと思います。相当なリスクを覚悟しなければならないと思います。

学校関係者評価を受けて

平成 28 年度の自己点検・自己評価を基に学校関係者評価委員の皆様にご意見を頂戴いたしました。とりわけ「専修学校における学校評価ガイドライン」及び特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構がガイドラインに準拠して制定した、「専門学校等評価基準書 Ver4.0」の次年度導入を前提とした取り組みに高い評価を頂いております。

平成 28 年度自己点検・自己評価について、客観的な立場から「適正」との判断を頂きましたが、評価や支持の他、改善に向けた取り組みを求める意見もあり、学生を中心に据えた学校運営の改善に努めて参ります。

自己点検及び自己評価運営委員会